年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 商業 科目 課題研究（アルゴリズム探究）

教 科： 商業　　科 目： 課題研究（アルゴリズム探究）　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 Ａ～Ｆ 組

使用教科書：（ 「Python入門 プログラミングの基礎から応用まで」東京書籍 ）

教科 商業 の目標：

【知識・技術】 情報処理について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 情報処理に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展

科目 課題研究（アルゴリズム探究） の目標：

【知識・技術】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
情報処理分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	情報処理に関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・プログラム言語の一つであるPythonの基本的な使い方を学ぶ ・アルゴリズムの基本を身に付ける ・実習課題を中心に学習を深める	企業における情報システムの重要性について理解し，情報システムを構築して企業活動を改善している具体的な事例を参考に，これらのシステムに関連づけて分析し，考察するなどの学習活動を取り入れる。	【知識・技術】 基本的なアルゴリズムの理解と応用 各種レポート 【思考・判断・表現】 プログラム制作 発表 各種レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業等での取組 実習課題	○	○	○	12
	・実習課題を中心に学習を深める	問題の分析からテストラン，デバッグに至る一連のプログラミングの手順について理解する。	【知識・技術】 基本的なアルゴリズムの理解と応用 各種レポート 【思考・判断・表現】 プログラム制作 発表 各種レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業等での取組 実習課題				24
2学期	・実習課題を中心に学習を深める ・Droneを活用してプログラム検証をする	・自ら課題を見つけてプログラムを制作する ・グループでプログラムを制作する ・情報社会についてのレポートを作成する ・droneをプログラムを活用して操作する	【知識・技術】 基本的なアルゴリズムの理解と応用 各種レポート 【思考・判断・表現】 プログラム制作 発表 各種レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業等での取組 実習課題				42
3学期	・実習課題を中心に学習を深める	・１年間の探究成果を発表をする。(課題研究発表会)	【知識・技術】 基本的なアルゴリズムの理解と応用 各種レポート 【思考・判断・表現】 プログラム制作 発表 各種レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 授業等での取組 実習課題	○	○	○	10
							合計 88